



わかみどり



<http://hirabayashi-e.murakami.ed.jp>

人権週間のお話

法務省の人権擁護機関では、毎年、人権デー（12月10日）を最終日とする1週間を「人権週間」と定め、その期間中、各関係機関及び団体と協力して、全国的に人権啓発活動を展開し、人権尊重思想の普及高揚を呼びかけています。

12月7日の全校集会で、子どもたちに次の話をしました。



今週は人権週間です。人権って何でしょうね？

難しいことばで言えば「人間が人間らしく生きる権利で、生まれながらに全ての人が持っている権利」です。

もっと分かりやすく言うと「自分の命はもちろん、みんなの命も大切にすること」、そして「みんなと仲良くすること」です。だから友達に意地悪したり、いじめたりすることは絶対に許されないことなんです。人権を守るためには、全ての人に思いやりの心で接することが大切です。

そこで今日は思いやりについてお話します。

平林小学校の学校教育目標は何ですか。そう、「ともにのびる子 ともにひらく子」です。

平林小学校のみんなには、このような子どもたちになるようにという目標です。

「ともに」というのは誰を指すのでしょうか。そう、友達のことですね。またはクラスのみんな、全校のみんなを指しています。

「のびる子」というのは勉強や運動、いろいろな活動に挑戦し、「みんなで力を伸ばしていく人」を目指しています。だから、自分のことだけではなく、困っている人には声をかけ、思いやりの心で助けることが必要ですね。そうすることによって友達も自分も力が伸びていきます。

では、「ともにひらく子」はどんな人を目指しているのでしょうか。「ともに」は同じです。「ひらく子」というのは、二つの意味があります。一つには、自分のもってる力が花開くこと、つまり自分のめあてを達成する、できるようになったことを表します。

もう一つの意味は「心をひらく」ということです。心を開くというのは、友達やクラスの仲間に意地悪や隠し事などせず、自分のやさしい気持ちをしっかりとみんなに伝えていくということです。そうすれば、みんなも自分のことを好きになってくれるし、自分もみんなのことが大好きになっていきます。自分はみんなのことを大好きだと言って言うメッセージをいつも伝え続けること、そして優しい言葉をかけたり、手伝ったり、思いやりの行動をすることが大切です。

平林小学校の教育目標にはこのような人権を大切にするという意味があるのです。これからの学校生活も思いやりの心をもって「ともにのびる子 ともにひらく子」を目指して欲しいと思います。

校長 高橋 明

